

お知らせ

ユニセフや世界の子どもたちに関心のある方はもちろん、
あなたの好きなことをユニセフ活動に生かしてみませんか？
♪絵や文章を書くのが好きな方 ♪子どもが好きな方
♪手作りするのが好きな方 ♪パソコンが得意な方
♪学習会の組み立てと一緒に考えてくれる方などなど

いつでも
ボランティア
大募集!!

[今後の活動予定]

- 10/1(月)～31(水) ユニセフパネル展「長谷部選手が見た 感じたレジリエンス」(人権ひろば21ふらっと)
- 12/5(水) 14:00-16:00 第10回 役員会 (鳥取県立福祉人材研修センター)
- 12/11(火) 10:00-12:00 鳥取県生協 西部エリア会 ユニセフ学習会「SDGsと子どもの貧困」
- 2019/1/21(火) 13:00-14:30 くらしの経済・法律講座 (公立鳥取環境大学)
「子どもたちの未来のために私たちができること ～SDGsの視点から～」

- 県内各地のイベントでブースを出します！

- 10/21(日) 10:00-14:00 せいきょうまつり (米子 弓ヶ浜公園)
- 10/21(日) 11:00-15:30 タイムフェスティバル (とりぎん文化会館)
- 11/17(土) 12:30-16:00 市民活動フェスタ (鳥取市 高齢者福祉センター)
- 11/25(日) 11:00-15:00 くらし国際交流フェスティバル (伯耆しあわせの郷)

SDGsの
ワークショップを
しています
遊びに来てね!!

鳥取県ユニセフ協会設立5周年記念事業 ※7/8(日) 西日本豪雨のため中止になった内容を開催します。

● 12月2日(日) SDGs(持続可能な開発目標)と私たちの未来について考える

講師：久木田 純さん(元国連職員)
場所：公立鳥取環境大学 学生センター多目的室
● 13:30 - 14:45 記念講演会
● 15:00 - 16:30 SDGsワークショップ
入場無料 / 定員 150 名 / 参加申込み 11/26(月)〆切



※各活動は、都合により変更となる場合がありますので、詳しくはホームページをご覧ください。

賛助会員募集！

日本ユニセフ協会と各協定地域組織の活動を賛助会費によってご支援いただく方法です。現在、鳥取県でも多くの賛助会員の方にご協力いただいています。鳥取から世界の子どもたちを支えましょう!!

種類	対象	賛助会費
一般賛助会員	個人	一口 5,000円
学生賛助会員	学生(18歳以上)	一口 2,000円
団体賛助会員	団体、法人、企業	一口 100,000円

賛助会員期間は、入会日より1年間です。賛助会費は寄付金控除の対象になります。一般・学生賛助会員は個人名でのお申込みに限ります。

■ ユニセフライブラリー

ユニセフの活動を紹介するビデオ・DVD・パネル・学習教材等の貸出しを行っています。

■ ビデオ・DVD

「ユニセフと地球のともだち」「すべての子どもに教育を」「シュメンシュメン-子どもたちからのメッセージ」など

■ パネル

「ユニセフってなあに」「わたしも学校に行きたい」

■ 学習教材

「地図でユニセフ」「地球のともだちユニセフワークブック」幼児向け絵本「ちきゅうからのしつもん」など

■ 展示ツール

ネパールの水がめ、マラリア対策の蚊帳、経口補水塩など

鳥取県ユニセフ協会

〒680-1202
鳥取市河原町布袋597-1 鳥取県生協内
TEL/FAX : 0858-71-0970
E/-Mail : unicef-tottori@juno.ocn.ne.jp
URL : <http://unicef-tottori.jp/>



ボランティア登録、資料貸出、
その他お問い合わせ等は、事務局
までご連絡ください。また、どなたで
もお気軽にお立ち寄りください。

月・火・金 10:00～16:00
水 10:00～12:00

鳥取県生協本部1階になります！

unicef

とっとりユニセフ通信

<発行>
鳥取県ユニセフ協会

vol. 11

2018年10月

unicef Report ▶▶▶ 世界の子どもたちは今・・・

イエメン：紛争で毎日約8人の子どもが死傷 人道支援が必要な子ども、世界最多の1,100万人

紛争開始から3年以上経過したイエメン。水道施設、学校、医療施設などの社会インフラ施設が攻撃を受け、生活必需品も圧倒的に不足しており、国全体が崩壊寸前です。

2015年3月から2018年6月の間に、死亡した子どもは2,398人、負傷した子どもは3,652人、イエメンの子どもたちの状況は悪化の一途で、国内の子どもの人口の80%にあたる1,100万人以上の子どもが切実に人道支援を必要としており、この数は世界最多になります。



家族で住んでいた故郷の家を思う、国内避難民のアフマド君

■ 紛争の影響を受ける教育

紛争の最大の被害を受けているのが、子どもの教育です。イエメンの教育分野は、他の分野と同様に、終わらない紛争、紛争当事者間の政治的分断、慢性的な開発の遅れの影響を受けて、崩壊寸前にあります。

2,500校以上の学校が、空爆や地上戦による損傷を受け、武装グループによって占拠されたり、あるいは避難民の仮設住居として使用され使えなくなっています。

教育省のデータによれば、9月から始まる新学年に学校に通えない子どもの数は、紛争前の160万人を超える200万人と推定されます。さらにイエメン全土では、約67%の公立学校教員が2年近く給与を支払われておらず、主に北部の州では小学生のさらに400万人が教育の機会を失う危険に晒されています。多くの教員が生活のために他の仕事を探すことを余儀なくされ、また教える科目数を減らしています。

教育の質も課題です。教員が不足しているために、子どもたちは満足に授業を受けられません。学校が機能していたとしても、1日の授業時間や、学期・年度の日数が短縮されています。

イエメンのような国では、学校に通えない子どもたちはいくつかのリスクに直面します。男の子は、2,635人以上が武装グループに徴兵・徴用されました。女の子は、2016年に6州で実施された調査によると、女性のほぼ4分の3が18歳になる前に、44.5%が15歳になる前に結婚していました。学校に通わない子どもたちは、読み書きができず技術をもたないまま親となり、次の世代に貧困が受け継がれることになります。



ユニセフが支援する子どもにやさしい空間で、笑顔を見せるナスル君

■ フォトジャーナリスト 久保田弘信さん講演会「今、イエメンで起こっている真実」

7/7(土) 鳥取市福祉文化会館



サウジアラビアとイランの代理戦争ともいわれる地に紛争が始まって以来、日本人としてはじめて取材に入る。隣国オマーンから入国、政府軍の支配地から反政府軍が占領を続ける首都サマアにまでたどり着く様子を写真や映像をもとにお話いただいた。サマア旧市街の500～1000年前にレンガや岩山を削って建てられた高層の住宅群は、「世界最古の高層住宅」とも言われ、今も人が住み生活をしている。しかし郊外の難民キャンプには、夜は気温が10度以下にもなる中、家を爆撃で破壊された家族が、テントやがれきの中で暮らしており、飢餓による栄養失調、給水設備の破壊による汚染水が原因となったコレラの流行などで人道危機に陥っている。ユニセフを含む支援がなされているが、惨状自体が分かりにくく、戦時下での障害が多いようである。紛争で国やそこに暮らす人々が分断されていく…また一つの国の現実に向きあった。

活動報告

鳥取県ユニセフ協会 設立5周年記念事業

ドキュメンタリー映画
「いのちのはじまり」上映会
& ユニセフパネル展

パネル展

5/27(日)～6/8(金) 米子市福祉保健総合センター ふれあいの里
6/10(日)～6/16(土) 鳥取県男女共同参画センター よりん彩 活動交流サロン
6/20(水)～6/27(水) とりぎん文化会館 フリースペース



上映会

6/9(土) ①10:00 ②14:00 米子コンベンションセンター 小ホール
6/16(土) ①10:00 ②14:00 倉吉交流プラザ 視聴覚ホール
6/23(土) ①10:00 ②13:30 とりぎん文化会館 第一会議室



来場者
米子 168名
倉吉 99名
鳥取 111名

たくさんの方から感想をいただきました。

- 素晴らしい！優しい世界を作るために自分に出来ることをやりたいと思いました。子どもの遊びを保障することは大切だと痛感！
- 保育士です、言葉では言い表せないぐらい感動がありました。命の誕生の素晴らしさ、また乳幼児期の大人の関わりが重要であること、とても実感しました。
- 愛情を母親からもらうというだけではなく、養子の子であっても父が育てている家庭でも幸せはあるのだと感じた。弟と妹の面倒を見ていた子が「夢はないです」と言っていたことがとても心が痛かった。自分が夢をもってそれに向かって頑張っていることは幸せなことなのだと感じた。
- 本当に大切なのはおもちゃでなくあなたです。という言葉に自信と勇気をもらいました。息子を抱きしめたくさんキスしてたくさん話そうと思いました。
- 2人の子どもの育児に追われ、楽しむというより戦っているような毎日でしたが、映画をみて早く子どもに会いたい遊びたいと思いました。子どものすばらしさ、人間を育てるという責任の重さを感じました。もっと多くの人に観てもらいたいです。
- 子どもは親だけでは育てられない。そう思っているのですが、そうせざるを得ない社会であり苦しいです。もっと「みんなで育てる」ことができれば社会はあたたかく争いのないものとなると思います。



●6/11(月) 平井県知事 訪問
5周年事業について紹介



シリア緊急募金



- 上映会の各会場では、シリア緊急募金の呼びかけを行い、多くの方から募金をいただきました。ありがとうございました。

「ユニセフってなあに？」 世界のいろいろな状況にいる子どもたちのことをいっしょに考えてみましょう!!

学校での出前授業をはじめ、ユニセフ活動に関心がある各団体に出向いての学習会を行っています。
ユニセフ活動のDVDや、支援物資の実物にも触れることができます。

■ 鳥取市食育推進委員会 用瀬支部 研修会

4/7(土) 用瀬地区保健センター



世界の子どもの状況とユニセフについて、理解を深めていただきました。

■ 河原町日赤奉仕団 研修会

4/23(月) 河原町総合福祉センター



鳥取県生活環境部くらしの安心局 消費生活センター

■ とっとり消費者大学「くらしと経済、法律講座」

7/17(火) 鳥取大学 大講義室

「子どもたちの未来のために私たちができること ～SDGsの視点から～」
チョコレートにまつわる児童労働を考える ～ドキュメンタリー映画「バレンタイン一揆」を通して～



■ 溝口中学校 福祉委員会 出前授業

7/9(月) このユニセフ学習会後、7/13(金)に生徒たちは、町内で街頭募金活動をしてくれました。



■ 夏休みユニセフ学習会 「世界の貧困問題について考える」

7/27(金) 鳥取会場 福祉文化会館
8/1(水) 米子会場 米子市児童文化センター

毎年恒例となった小学生高学年向けの夏休みユニセフ学習会。子どもたちは自由研究として集中して取り組んでくれました。



■ 北栄町人権学習 夏休み集中講座 ユニセフ学習会

8/3(金) 大栄町 ほくほくプラザ



世界を旅した中尾さんのお話。民族衣装や楽器体験、外国で販売している日本のマンガなども見せてもらいました。

(感想) いろいろな国の子どもが苦しんでいるのがわかった。私たちは「勉強がいや」とかっているけど、勉強したくてもできない人がいるのがわかった。



(感想) 自分ができるとは、今日一日を通して分かったことをたくさんの人に教えて知ってもらうことだと思いました。ふだん当たり前だと思うことのありがたみをすごく感じた。

中学生の職場体験！

5/14(月)～18(金)

河原中学校の職場体験「いきいきワークかわはら」で、2年生2名を受け入れました。ボランティアの方にもサポートしていただきました。



「SDGs」教材作り

ユニセフ募金活動
(道の駅かわはら)



■ 5/7(月) 第9回 役員会

(鳥取県福祉人材研修センター)



SDGsに向けた取り組み事例として、(株)井ゲタ竹内の竹内様にご講演いただきました。

■ 6/21(木)～22(金) 学習講師研修会

(日本ユニセフ協会 ユニセフハウス)
カンボジア、ロヒンギヤの現地視察報告、学習会の事例紹介等、ぎゅっと詰まった2日間でした。



■ 全国中学校体育大会へのブース出展

「Team UNICEF」パネル展示、ユニセフ資料の配布
ソフトボール大会 8/17(金) 倉吉体育文化会館
サッカー大会 8/18(土) 鳥取県民体育館
バレーボール大会 8/21(火) 松江市総合体育館

